

宇部市SDGs未来共創企業 インタビューシート

2026年3月提出

基本情報

 NEW SPACE INTELLIGENCE	企業(団体)名	株式会社New Space Intelligence		
	代表者名	代表取締役 長井裕美子	業態	法人
	業種	G: 情報通信業	従業員数	23人
	所在地	〒755-0151 山口県宇部市大字西岐波329番地22		

積極的に取り組んでいる開発目標



インタビュー項目

① 普段どのようなことをされている企業(団体)ですか？

NSIはそれら人工衛星から得られる膨大な数の衛星データが利用できる環境をいち早く整備し、地球全体や我々が抱える様々な課題の解決方法を、「宇宙を利用する」という視点から考えています。

これから数年でおよそ1,000機以上の地球観測衛星が打ち上げられるとされています。「陸域」「海域」「空域」のような広範囲を周期的にかつ長期間観測が可能なのは人工衛星だけで、そのデータを通じて今まで分からなかった地球の変化や未来が見えてきます。

NSIが開発した「衛星データパイプライン[®]」という画期的なプラットフォームにより、多岐にわたるインフラ監視サービスや、グローバルな視点での地球環境や社会インフラのモニタリングサービスを提供していきます。



モニタリングサービスのイメージ

Welcome to NSI! 🙌

Please sign-in to your account and start the services

Email

email@example.com

Password

.....

Remember Me

Sign in

②SDGsに取り組むに至ったきっかけ、理由は？

NSIのサービスにおけるSDGsとして、環境の変化/異常の検知があります。例えばその土地の植生を分析したり、地盤変動をモニタリングしたりと内容は多岐にわたります。植生の分析から、その土地がどういう状況なのか、今後どうなっていくのかを知ることによって、その土地の農業のありかたや、実際の農作物の状況を把握することができます。地盤変動のモニタリングからは過去数年のトレンドを人工衛星データで把握することにより、人類が生活していくうえで必要不可欠な街づくりに有効な施策の一助にすることができます。

このようなサービスを提供する企業として、またそこで働く従業員一人一人がSDGsを意識しながら業務や個人生活を行っていくことは当然なことだと考えます。また、NSIは多国籍の従業員が在籍しています。文化の異なる者同士がお互いの多様性を認め合い、尊重しながら働く企業風土はSDGsそのものだと考えています。



③普段どのようなことに重点的に、或いは意識してSDGsに取り組んでいますか？

社内全体が、目標8や目標10のように従業員が働きやすい環境になるよう、トップをはじめ社員一人一人が周囲への気遣いや声かけを大切にしています。仕事と家庭のワークライフバランスがとれ、また、社員全員に平等に仕事や成長のためのチャンスが与えられ、働くモチベーションが高く保てるような企業を目指しております。

NSIのサービス全体としては、目標11や目標15のように「衛星データパイプライン[®]□」という地球環境をモニタリングする解析サービスを活用したソリューションを通してSDGsに取り組んでいます。

日本に限らず世界中で打ち上げられている複数の人工衛星のセンサを使用して、高頻度に、取りこぼさずを検知することができます。現地確認が難しい箇所の自然災害を発見したり、社会インフラの異常を検知することで、被害の予防・保全に貢献していきます。

衛星データパイプライン®

NSIは、分析に最適なデータを選別・統合・解析・提供するまでの一連のプロセスを自動化・システム化したプラットフォーム「衛星データパイプライン®」を運用しています。



選択

AI技術により、
最適な衛星データを
複数選択



統合

校正技術(統合技術)で
複数の衛星データを
同時に使用可能に



解析

最適なAI技術で
膨大な衛星データを
解析



提供

使いやすい
情報に加工し、
結果を提供

©New Space Intelligence Inc.

④2030年に向けたSDGsの取組について、現状や今後の予定を教えてください。

①女性の雇用率を上げる

NSIは代表取締役が女性ということもあり、女性でも働きやすい環境を整備しています。設立4年ではありますが、SDGs目標を掲げた2023年と比べて、従業員が2倍に増え、女性の雇用率は50%になりました。男性社員の育休取得も推進しています。今後も、育児をしながらでも臨機応変に働くことができる環境整備や、雇用の促進をしていくことによって2030年にも同水準を担保することを目指して参ります。

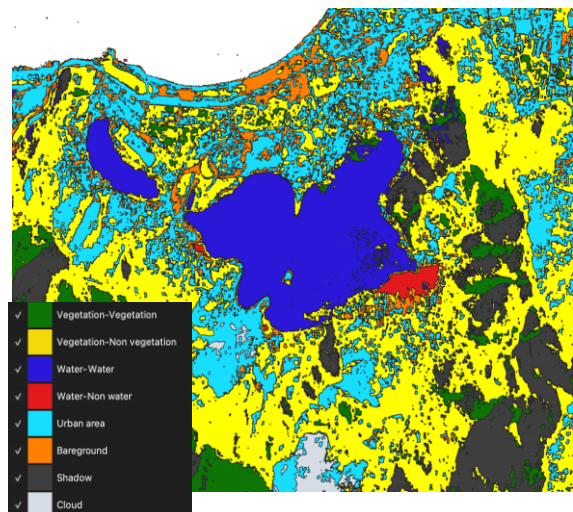
②社会インフラ監視

生活をしていくうえでは、鉄道や道路といった社会インフラは必要不可欠です。そのインフラが問題なく運用できること、また、異常を事前に検知して問題を未然に防ぐことは非常に重要です。

NSIではこの異常の検知サービスを行い、防災の促進や環境保全対策の推進、快適な生活基盤の構築に貢献していくことを目標としています。2026年現在、インフラの異常検知サービスの提供件数は年々増加しております。今後も2030年の目標達成に向けて、より多くの問題発生の可能性を検知し、未然に防ぐ取り組みを行っていきます。



鉄道インフラ異常検知サービス



人工衛星による土地被覆モニタリング